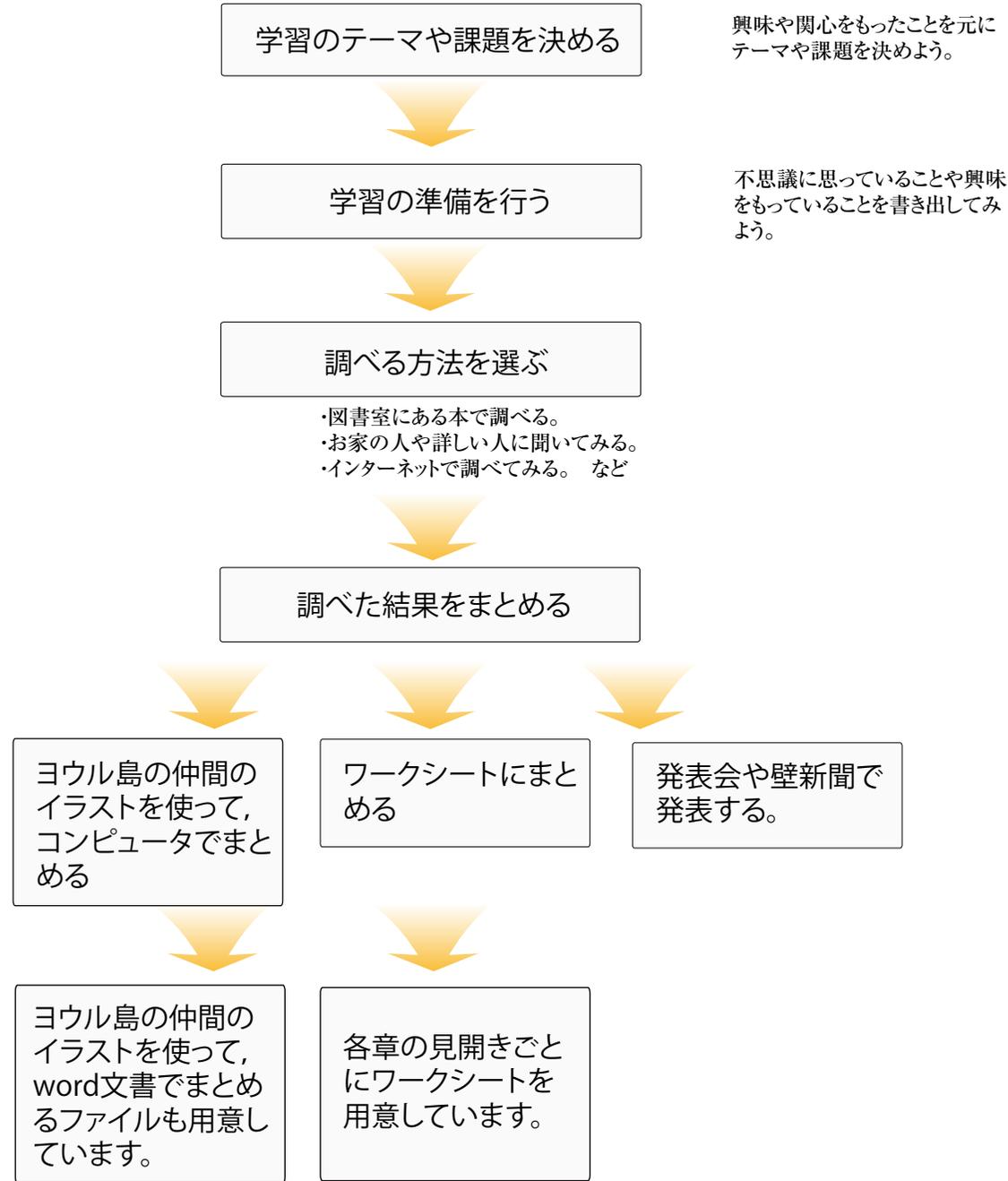


調べ学習をすすめてみよう



総合的な学習の時間における学習指導案の書き方

○ 本時の学習指導

(1) 目標 文末は～できる。(本時のねらいを明確に書く)

(2) 展開(例)

学習指導	☆評価基準(方法)★支援・指導上の留意点	時間
1 本時のねらいを知る。	○課題・テーマ・ねらいを提示する。 ◇導入の方法も工夫する。(VTR TV PCなどの情報機器)の活用、ゲストティーチャー、写真、表やグラフ児童の作品、パワーポイント	
2 導入に関連して児童の活動を入れる。	○導入から本時のねらいに迫れる活動方法(手段)を入れる。 ◇例:調べる 提示に使用したものから発展させる。 ☆評価規準は、本時のねらいに合わせて一つか二つ位にしておく。 たくさん入れても評価に追われてしまう。	
3 思考の時間を作る。	○個人で考える時間やグループで考える時間も活動の中に入れる。 ◇思考の手助けにワークシートなど書くものを使用して考えを整理できるようにする。書かせることから教師も児童の現在の考え方や取組を確認できる。 ★支援や指導上の留意点は、児童へ何をどのように具体的にするのかを書き入れる。(教師の動きがわかるように)	
4 話し合いの場面をつくる。	○自分の考えを他の人に伝えて聞いてもらうことにより、コミュニケーション力、かかわり合い力も高められる。同時に自分の考えや、やりたいことが見えてくるが多々ある。	
5 振り返り、本時のまとめをする。	○必ず、本時は何をしたのか(自己評価)を問い、振り返らせる。そして、次時につなげる。 ◇評価には、発表やワークシートに記入する方法もあれば、評価表にシールを貼ったり、手を挙げたりなど、様々な方法があるので、その時間にあったものを取り入れる。 ◇児童だけではなく、加した方から評価をいただくことも効果的な指導につながる場合もある。	